

2021年12月27日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報部

カネカ 新型コロナウイルスのオミクロン株 PCR 検査キットを発売

— 1回の検査でデルタ株と同時に識別 —

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：田中 稔）は、新型コロナウイルスのオミクロン株とデルタ株を、同時に識別可能なリアルタイム PCR 検査キット「KANEKA RT-PCR Kit “SARS-CoV-2 (Omicron / Delta)”」を1月7日より発売します。本製品は希望小売価格 税込 121,000 円（検査 100 回分）です。

本検査キットは、当社の遺伝子検査関連の技術を活かして開発した独自の試薬を用いています。オミクロン株に特徴的なスパイク蛋白質^{*1}の2か所の変異（E484A、N856K）と、デルタ株に特徴的な変異（L452R）を検出することで、オミクロン株、デルタ株を同時に識別します^{*2}。オミクロン株の2か所の変異を検出することにより、より高精度の検出が可能です。オミクロン株が世界的に増加する中で、デルタ株と同時に識別することで検査負担の軽減につながります。

当社はこれまでに、独自の検体前処理技術により1時間以内の結果判定が可能な体外診断薬「カネカ Direct RT-PCR キット SARS-CoV-2」や、4種類の変異株を同時に検出できる「KANEKA RT-PCR Kit “SARS-CoV-2(L452R/E484Q/E484K/N501Y)”」を発売してきました。これら当社製品は医療施設、検査センターのほか、スポーツの世界大会や海外渡航前において使用され、多くの検体の短時間での検査に貢献しています。

当社は新型コロナウイルスを始めとする感染症対策の研究開発を進める「インфекション研究チーム」を立ち上げ、PCR 検査キットのラインアップを拡充するとともに、DNA ワクチン原薬・中間体の受託製造、抗体医薬品の開発、PCR 検査試薬および検査キット供給、定温輸送パッケージによるワクチン輸送など、新型コロナウイルス問題の課題解決に向けて幅広く取り組んでいます。

以上

*1. ウイルスのスパイク蛋白質のアミノ酸の変異のことで、変異の内容によって名称が異なる。L452R 変異はスパイク蛋白質の452番目のアミノ酸が、L（ロイシン）からR（アルギニン）に変化したもの。N856KはN（アスパラギン）からK（リシン）に、E484AはE（グルタミン酸）からA（アラニン）への変化のこと。

*2. 新型コロナウイルス変異検出と変異株の関係（+：陽性 -：陰性）

L452R	E484A / N856K	▶	判定
+	-		デルタ株
-	+		オミクロン株

問い合わせフォーム：<https://www.kaneka-labtest.com/contact-us.html>



KANEKA RT-PCR Kit "SARS-CoV-2 (Omicron / Delta)"